



2023年12月期 決算説明資料

株式会社ビジョン
STOCK CODE : 9416
2024年2月13日

業績ハイライト
2023年12月期 実績

P.3～

2024年12月期 業績予想

P.10～

成長に向けた取り組みの内容

P.17～

サステナビリティ ～ESG+SDGs～

P.30～

トピックス

P.36～

業績ハイライト 2023年12月期 実績

連結損益計算書

◆売上高は**24.8%**増、営業利益は**77.3%**増。

◆売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも**過去最高**。

(百万円、%)	2022年12月期		2023年12月期		YoY増減率		通期業績 予想 2023年 8月発表	進捗率
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率		
売上高	25,487	100.0%	31,807	100.0%	6,320	24.8%	30,095	105.7%
売上原価	13,157	-	14,005	-	847	6.4%	13,153	-
売上総利益	12,330	48.4%	17,802	56.0%	5,472	44.4%	16,941	105.1%
販売管理費	9,916	38.9%	13,521	42.5%	3,605	36.4%	12,922	104.6%
営業利益	2,414	9.5%	4,280	13.5%	1,866	77.3%	4,019	106.5%
経常利益	2,422	9.5%	4,337	13.6%	1,915	79.1%	4,053	107.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,548	6.1%	3,025	9.5%	1,477	95.4%	2,673	113.2%

セグメント別売上高

- ◆グローバルWiFi事業は**30.1%**増、情報通信サービス事業は**14.1%**増。
- ◆グランピング・ツーリズム事業は**168.4%**と大幅増。

(百万円、%)	2022年12月期		2023年12月期		YoY増減率		通期業績 予想 2023年 8月発表	進捗率
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率		
売上高	25,487	100.0%	31,807	100.0%	6,320	24.8%	30,095	105.7%
グローバルWiFi事業	14,389	56.5%	18,728	58.9%	4,338	30.1%	17,509	107.0%
情報通信サービス事業	10,615	41.6%	12,108	38.1%	1,492	14.1%	11,644	104.0%
グランピング・ ツーリズム事業	340	1.3%	913	2.9%	572	168.4%	860	106.1%
報告セグメント計	25,345	99.4%	31,749	99.8%	6,404	25.3%	30,014	105.8%
その他	197	0.8%	94	0.3%	△102	△52.1%	81	116.6%
調整額	△55	-	△36	-	18	-	-	-

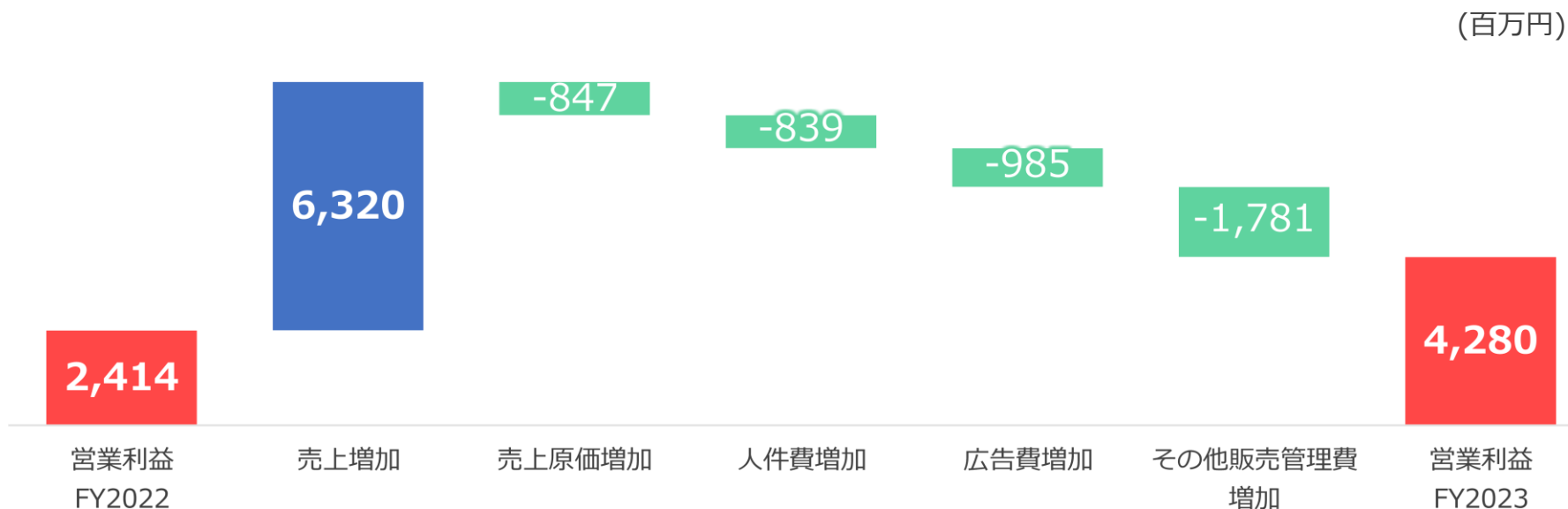
セグメント別利益

- ◆グローバルWiFi事業は**63.5%**増、情報通信サービス事業は**35.9%**増。
- ◆グランピング・ツーリズム事業は堅調に推移。

(百万円、%)	2022年12月期		2023年12月期		YoY増減率		通期業績 予想 2023年 8月発表	進捗率
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率		
営業利益	2,414	9.5%	4,280	13.5%	1,866	77.3%	4,019	106.5%
グローバルWiFi事業	3,078	21.4%	5,032	26.9%	1,954	63.5%	4,592	109.6%
情報通信サービス事業	765	7.2%	1,040	8.6%	275	35.9%	1,123	92.6%
グランピング・ ツーリズム事業	△122	-	88	9.7%	211	-	59	149.3%
報告セグメント計	3,721	14.7%	6,162	19.4%	2,441	65.6%	5,775	106.7%
その他	△119	-	△176	-	△56	-	△137	-
調整額	△1,186	-	△1,705	-	△518	-	△1,618	-

営業利益の増加要因 前年同期比

- 旅行需要の回復を背景に、グローバルWiFiのレンタル件数が増加およびOA機器の販売も好調に推移し**24.8%**増。売上総利益は**44.4%**増。
- 販売管理費は**36.4%**増。
- 営業利益率は2022年12月期**9.5%**から2023年12月期**13.5%**に改善。

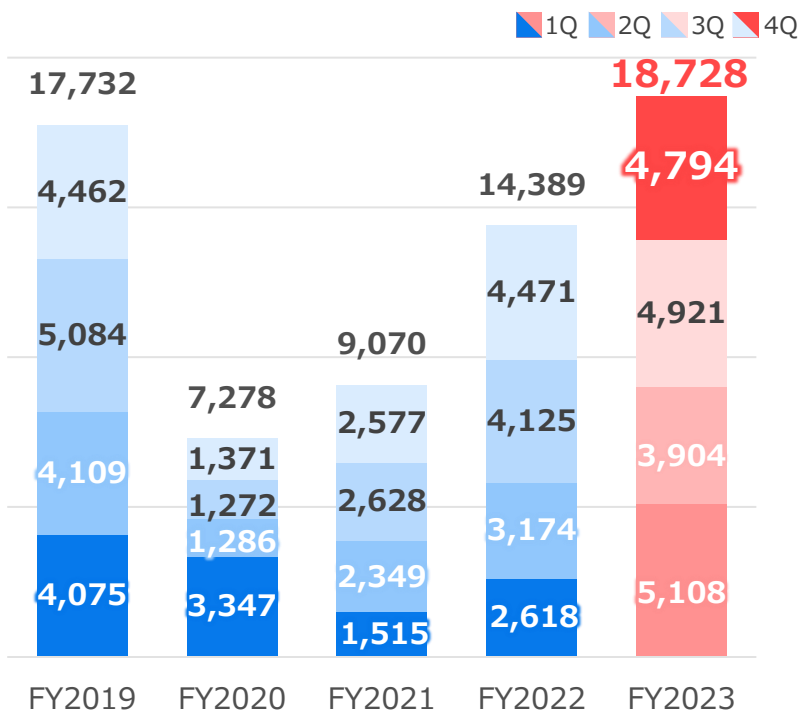


グローバルWiFi事業 業績推移

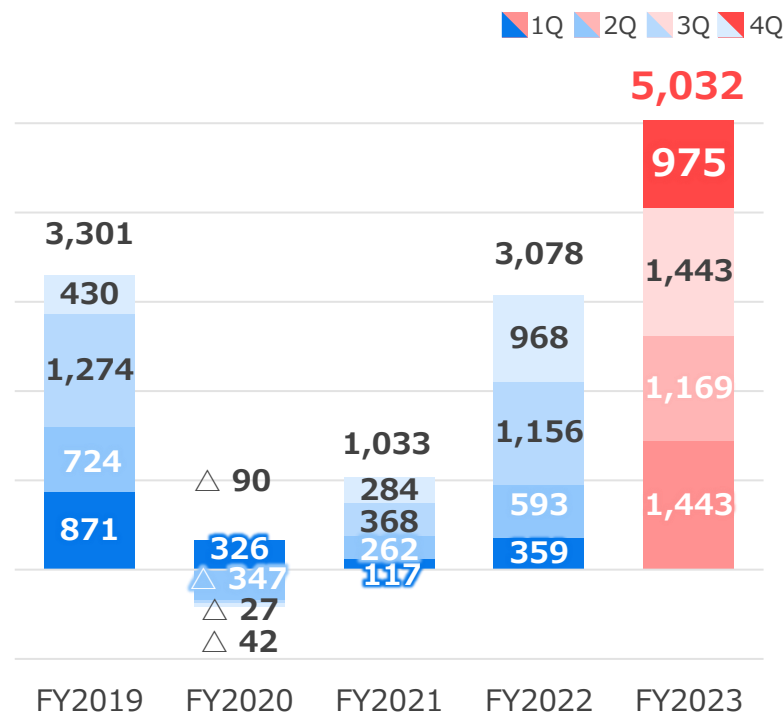


- 2019年対比で、出国日本人数は**47.9%**（同10月～12月：**58.0%**）、訪日外客数は**78.6%**（同10月～12月：**103.0%**）。出典：日本政府観光局（JNTO）
- 当社のアウトバウンドのご利用件数および売上は、2019年対比で**48.1%**（同10月～12月：**58.0%**）、**83.6%**（同10月～12月：**97.1%**）まで回復。
- アウトバウンドはデータ容量「無制限プラン」および高速データ通信「5Gプラン」の需要が高く、客単価を高く維持。

売上高



セグメント利益又は損失（△）（百万円）

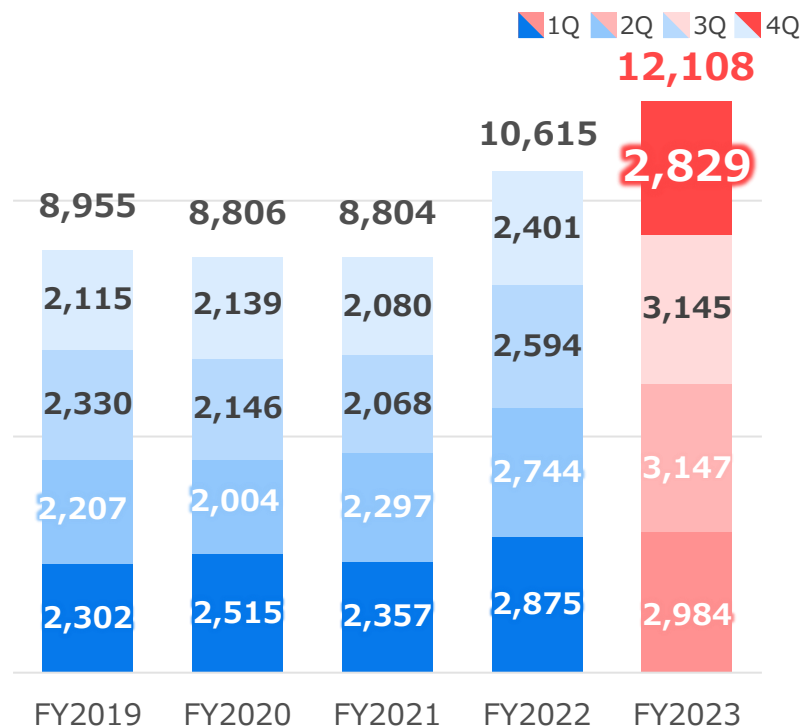


情報通信サービス事業 業績推移

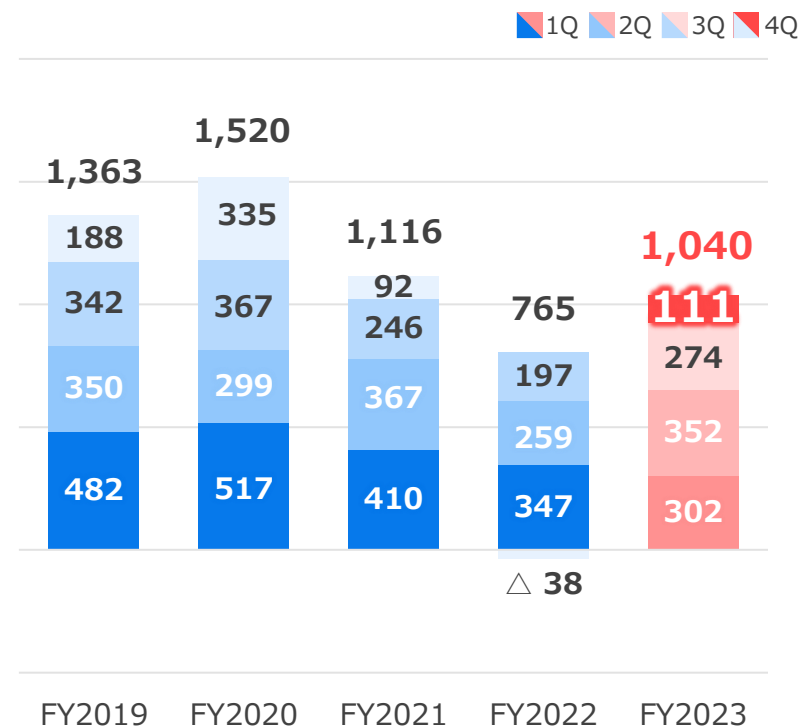


- 営業人員の採用強化により、OA機器の販売は引き続き好調に推移。
- 2023年9月より、「ビジョン光」の販売を開始し、自社サービスのストック収益を強化。

売上高



セグメント利益又は損失 (△) (百万円)



| 2024年12月期 業績予想

通期業績予想



(百万円、%)	2023年12月期		2024年12月期		YoY増減率	
	実績	構成比	予想	構成比	増減額	増減率
売上高	31,807	100.0%	36,145	100.0%	4,338	13.6%
売上原価	14,005	-	15,568	-	1,563	-
売上総利益	17,802	56.0%	20,577	56.9%	2,774	15.6%
販売管理費	13,521	42.5%	15,322	42.4%	1,801	13.3%
営業利益	4,280	13.5%	5,254	14.5%	973	22.7%
経常利益	4,337	13.6%	5,256	14.5%	918	21.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,025	9.5%	3,500	9.7%	474	15.7%

セグメント別通期業績予想



売上高 (百万円、%)	2023年12月期		2024年12月期		YoY増減率	
	実績	構成比	予想	構成比	増減額	増減率
グローバルWiFi事業	18,728	58.9%	20,620	57.0%	1,892	10.1%
情報通信サービス事業	12,108	38.1%	14,136	39.1%	2,028	16.8%
グランピング・ツーリズム事業	913	2.9%	1,260	3.5%	347	38.0%
報告セグメント計	31,749	99.8%	36,017	99.6%	4,267	13.4%
その他	94	0.3%	128	0.4%	33	35.4%
調整額	△36	-	0	-	-	-
セグメント利益 (百万円、%)	2023年12月期		2024年12月期		YoY増減率	
	実績	利益率	予想	利益率	増減額	増減率
グローバルWiFi事業	5,032	26.9%	5,511	26.7%	478	9.5%
情報通信サービス事業	1,040	8.6%	1,635	11.6%	594	57.1%
グランピング・ツーリズム事業	88	9.7%	164	13.1%	75	85.3%
報告セグメント計	6,162	19.4%	7,311	20.3%	1,149	18.7%
その他	△176	-	△96	-	80	-
調整額	△1,705	-	△1,961	-	△256	-

セグメント別通期業績予想

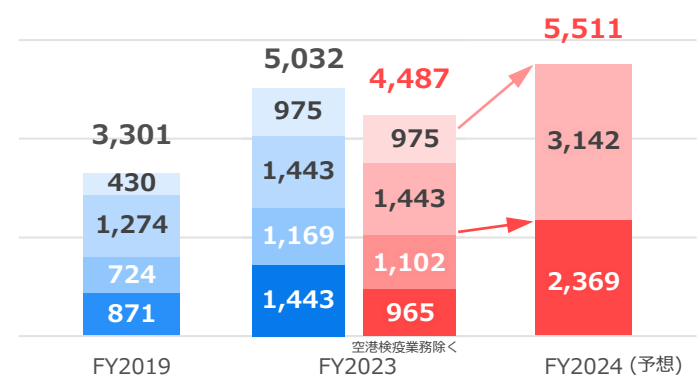
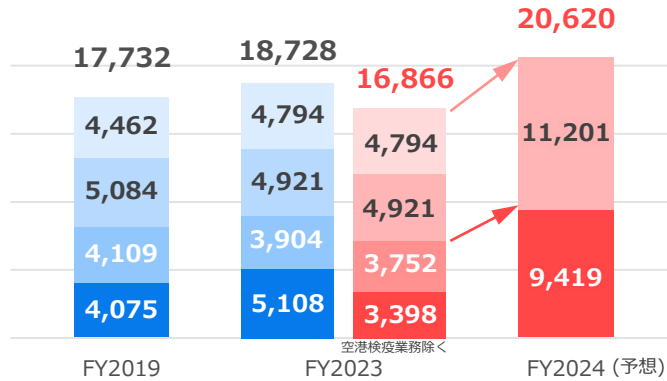
売上高

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q
FY2024(予想) ■ 上半期 ■ 下半期

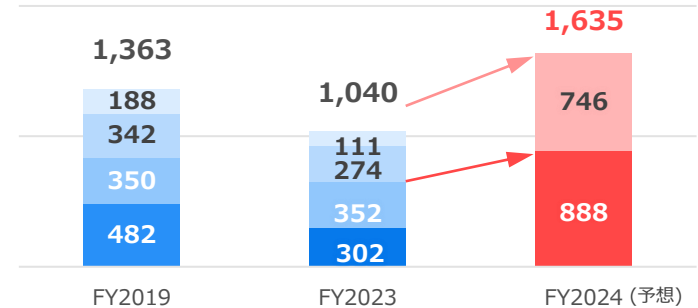
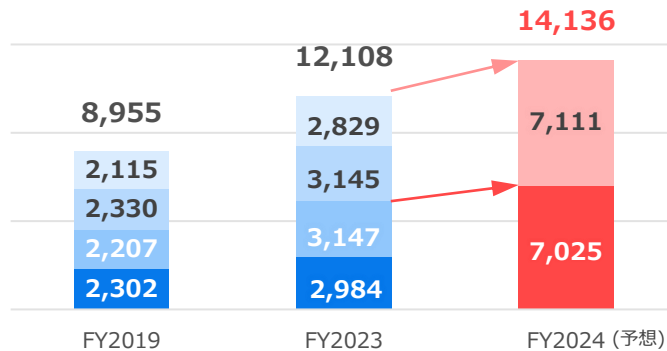
セグメント利益 (百万円)

(百万円)

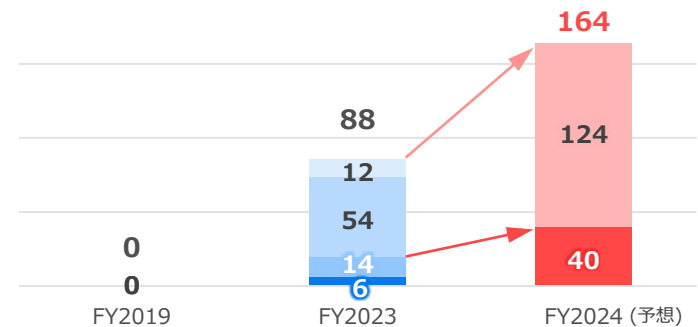
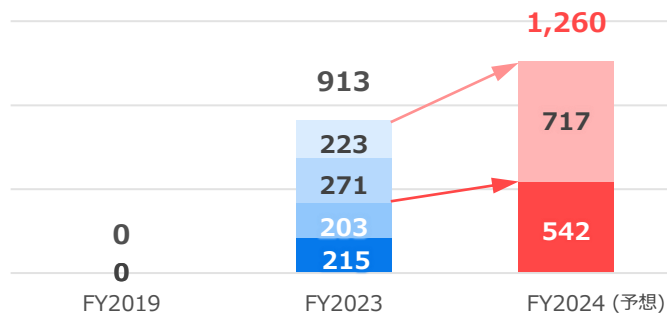
グローバル WiFi 事業



情報通信 サービス 事業

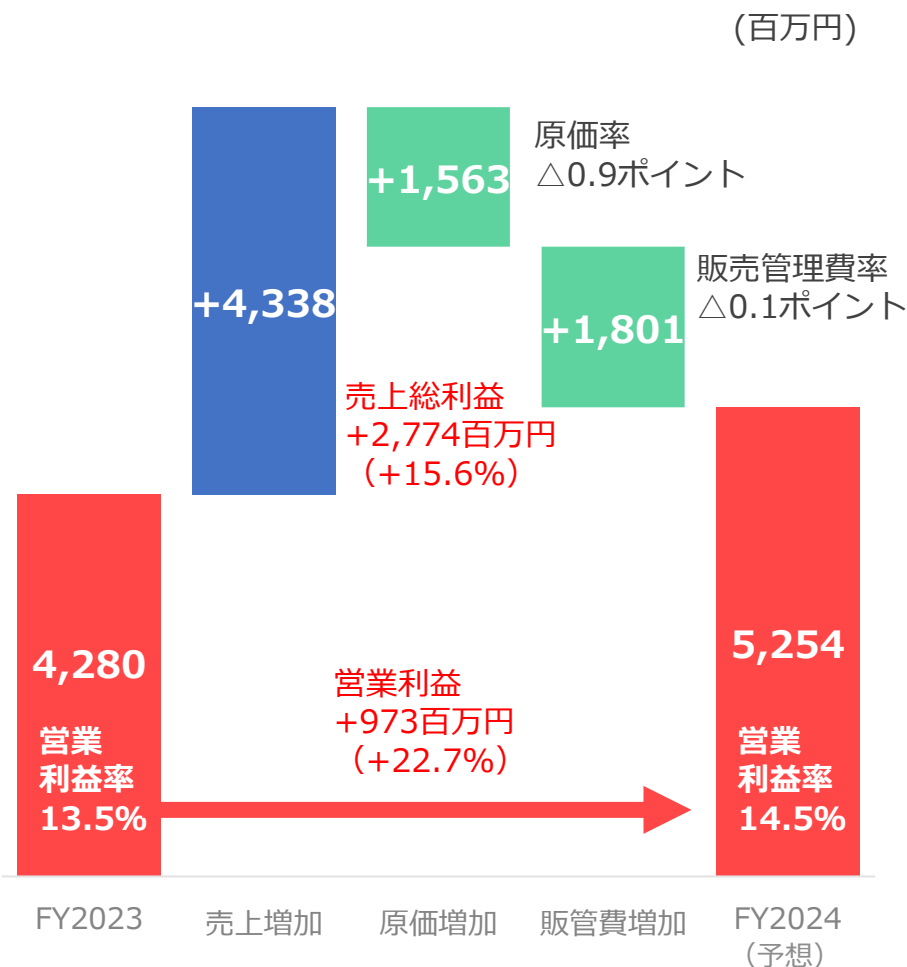


グランピング・ツーリズム 事業



営業利益（予想）の増減要因

営業利益率14.5%
(前年同期比約1ポイント上昇)



◆2024年前提条件

積極的な投資を含めた営業利益設定

グローバルWiFi事業

- ・為替：150円設定
- ・海外渡航回復率：71.2%（2024年通期）
- ・プロモーション強化による認知度向上
- ・グローバルWiFi、World eSIMの世界販売

情報通信サービス事業

- ・自社ストックサービスの強化
※ビジョン光、セキュリティカメラ、ホームページ、クラウドサービス、各種ビジネス機器レンタル等
- ・中途採用：50名（積極採用）

◆設定条件外

積極的なM&Aを通じて事業シナジーを最大化

通期業績推移（四半期別推移）



(百万円、%)			1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期
2019年12月期	売上高	構成比 (対通期)	6,470 (23.7)	6,467 (23.7)	7,610 (27.9)	6,770 (24.8)	27,318
	営業利益	構成比 (対通期)	980 (29.5)	710 (21.4)	1,280 (38.5)	354 (10.7)	3,325
	営業利益率		15.1	11.0	16.8	5.2	12.2
2020年12月期	売上高	構成比 (対通期)	5,989 (36.0)	3,641 (21.9)	3,477 (20.9)	3,546 (21.3)	16,654
	営業利益又は営業損失 (△)	構成比 (対通期)	488	△503	73	45	103
	営業利益率		8.1	—	2.1	1.3	0.6
2021年12月期	売上高	構成比 (対通期)	3,938 (21.8)	4,706 (26.0)	4,747 (26.2)	4,708 (26.0)	18,100
	営業利益	構成比 (対通期)	285 (25.9)	368 (33.3)	359 (32.5)	91 (8.3)	1,105
	営業利益率		7.3	7.8	7.6	1.9	6.1
2022年12月期	売上高	構成比 (対通期)	5,609 (22.0)	6,019 (23.6)	6,849 (26.9)	7,009 (27.5)	25,487
	営業利益	構成比 (対通期)	403 (16.7)	517 (21.5)	1,027 (42.6)	464 (19.2)	2,414
	営業利益率		7.2	8.6	15.0	6.6	9.5
2023年12月期	売上高	構成比 (対通期)	8,347 (26.2)	7,272 (22.9)	8,333 (26.2)	7,853 (24.7)	31,807
	営業利益	構成比 (対通期)	1,382 (32.3)	1,045 (24.4)	1,289 (30.1)	563 (13.2)	4,280
	営業利益率		16.6	14.4	15.5	7.2	13.5

既存事業の生産性向上および新規事業であるグランピング・ツーリズム事業の育成に注力するとともに、強い収益基盤の構築に取り組み、2022年3月1日に発行決議しました第4回新株予約権の行使条件（業績条件）の**早期達成 = 企業価値の向上**を目指してまいります。

名称	株式会社ビジョン 第4回新株予約権
発行数	7,200個 新株予約権 1個につき100株 普通株式720,000株
発行価格	新株予約権 1個当たり800円
対象	当社取締役、当社従業員、当社子会社取締役 32名
行使条件 (業績条件)	2023年12月期～2025年12月期のいずれかの事業年度において、 営業利益が40億円を超過した場合行使可能割合50% 2023年12月期～2027年12月期のいずれかの事業年度において、 営業利益が50億円を超過した場合行使可能割合100%

成長に向けた取り組みの内容

中期的な成長イメージ

◆グローバルWiFi事業

顧客基盤

拡大：既存事業の拡大、海外マーケットへの展開およびM&A強化

拡充：新サービスやクロスセル商材の拡充

活用：ビックデータの効果的活用

◆情報通信サービス事業

顧客基盤活用

商品・サービス・ビジネスモデル強化

自社ストックサービスの最大化

クラウドアプリケーションサービス (SaaS) の展開

◆グランピング・ツーリズム事業

グランピング施設の拡充

ツーリズム事業の拡充

営業利益
100億円

【第3ステージ】 グローバル (海外⇒海外)

【第2ステージ】 インバウンド (海外⇒日本)

※日本国内利用含む

【第1ステージ】 アウトバウンド (日本⇒海外)

グローバルWiFi事業

情報通信サービス事業

グランピング・ツーリズム事業

M&A

販売チャネル	Web マーケティング	営業 オンライン・オフライン	CLT カスタマー・ロイヤリティー・チーム	店舗 カウンター等	パートナー 旅行会社、OTA含む	海外子会社
	顧客基盤		スタートアップ・一般企業 上場企業などの法人顧客	海外企業等と取引の ある法人顧客	国内外の海外旅行者 ※インバウンド含む	個人顧客

グローバルWiFi事業

顧客基盤

拡大：既存事業の拡大、海外マーケットへの展開およびM&A強化

拡充：新サービスやクロスセル商材の拡充

活用：ビックデータの効果的活用



※2024年2月 ビジョン調べ
「グローバルWiFi for Biz」ご利用者を除く

【新規領域】 M&A

【第3ステージ】
グローバル（海外⇒海外）

【第2ステージ】
インバウンド（海外⇒日本）

※日本国内利用含む

【第1ステージ】
アウトバウンド（日本⇒海外）

eSIM World eSIM
GLOBAL WiFi for Me

NINJA WiFi
Powered by GLOBAL WiFi
WIFIRENTAL.COM
WIFI RENTAL .COM

GLOBAL WiFi®

GLOBAL WiFi. for Biz

市場規模※

国際観光客到着数

約14億人（2018年）

↓
2030年予想

18億人

訪日外客数

約3,188万人（2019年）

↓
2030年予想

6,000万人

出国日本人数

約2,008万人
（2019年）

※出典：日本政府観光局（JNTO）資料、令和元年版観光白書、国連世界観光機関（UNWTO）公表資料

お申込み・お受け取り・ご返却が不要

1台で世界中どこでもインターネット グローバルWiFi for Biz



テレワークでのご利用から、急な海外出張の際もすぐにご利用できます。



海外での次世代通信



情報を遠隔で書き換え



キャリア

- ✓ 自分のスマホが180以上の国と地域で使える！
- ✓ 自分にあった料金プランが選べる！
- ✓ 荷物が増えない、受取りや返却もなし！

業界初！

超高速通信5Gプラン



人気の容量無制限プラン

たくさん使っても安心！

91か国 対応中

訪日外国客向け
Wi-Fiルーターレンタルサービス



日本旅行のマストアイテム

日本ではフリーのWi-Fiスポットの普及が進んでいないため、フリーのWi-Fiスポットを見つけることは簡単ではありません。NINJA WiFiは完全定額制で日本全国どこでもいつものスマホでインターネット！

届いてすぐに使える



国内旅行や一時帰国、ビジネス（出張やイベント利用）、入院、引っ越し、自宅回線との併用等に利用されています。

お客様の声から生まれたサービス



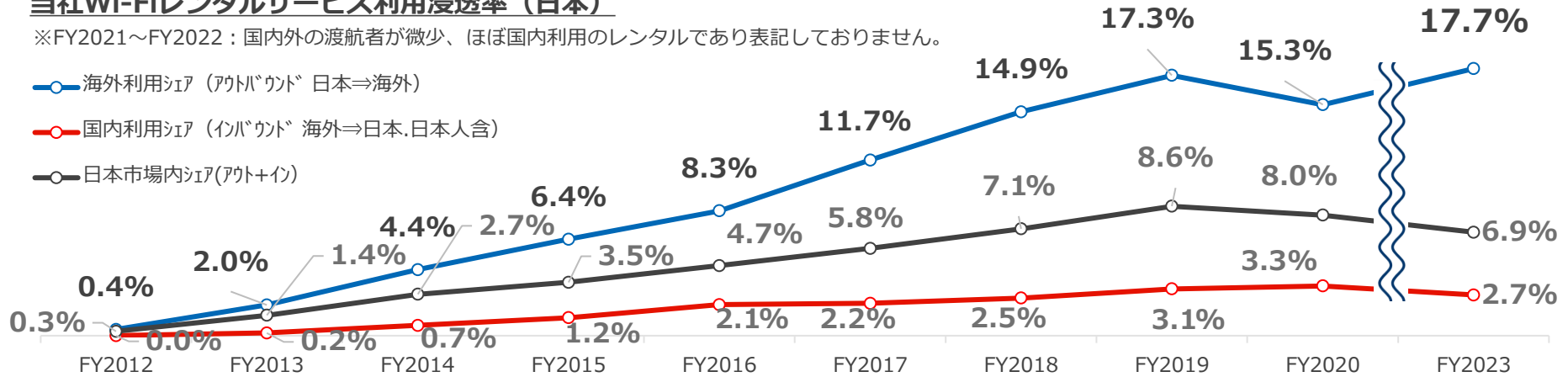
Wi-Fiルーターの購入を検討されているお客様向けの、レンタルではない販売モデルのサービス。購入前にレンタルでのお試し利用でご自宅等の通信環境を確認した上でニーズにあったWi-Fiルーターを購入。

グローバルWiFi事業 利用件数推移



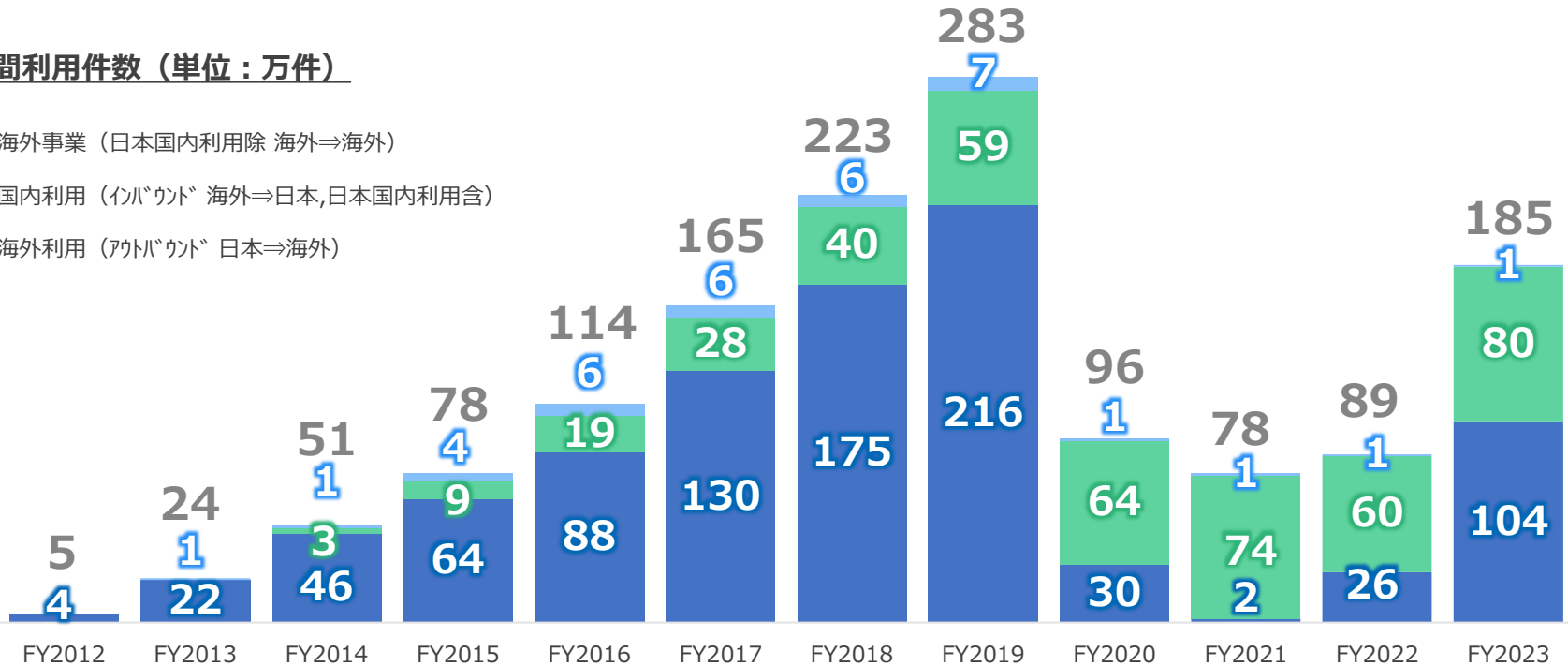
当社Wi-Fiレンタルサービス利用浸透率（日本）

※FY2021～FY2022：国内外の渡航者が減少、ほぼ国内利用のレンタルであり表記しておりません。



年間利用件数（単位：万件）

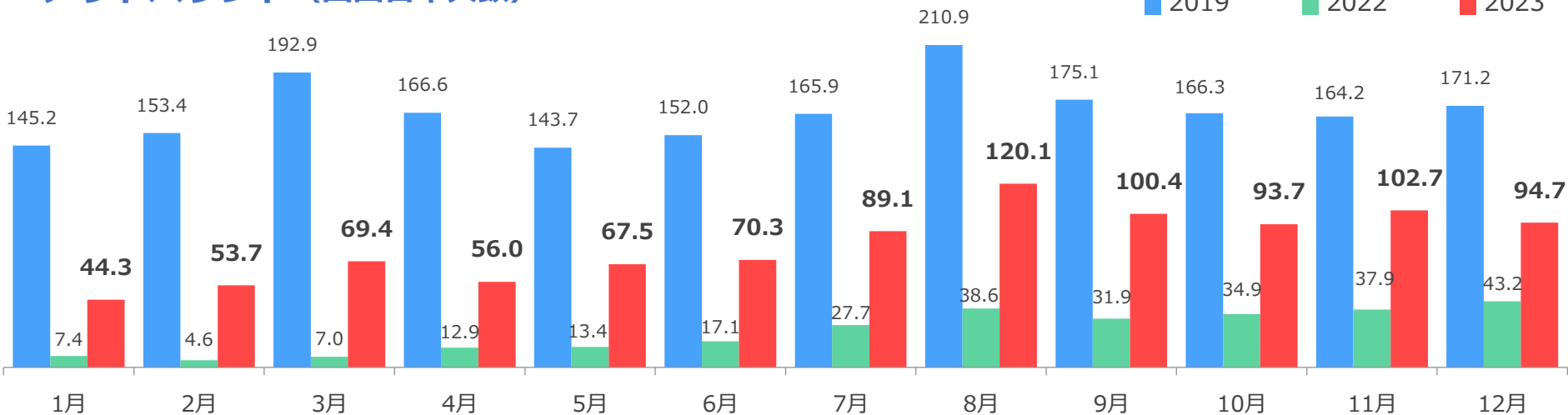
- 海外事業（日本国内利用除 海外⇒海外）
- 国内利用（インバウンド 海外⇒日本,日本国内利用含）
- 海外利用（アウトバウンド 日本⇒海外）



アウトバウンド (出国日本人数)

(万人)

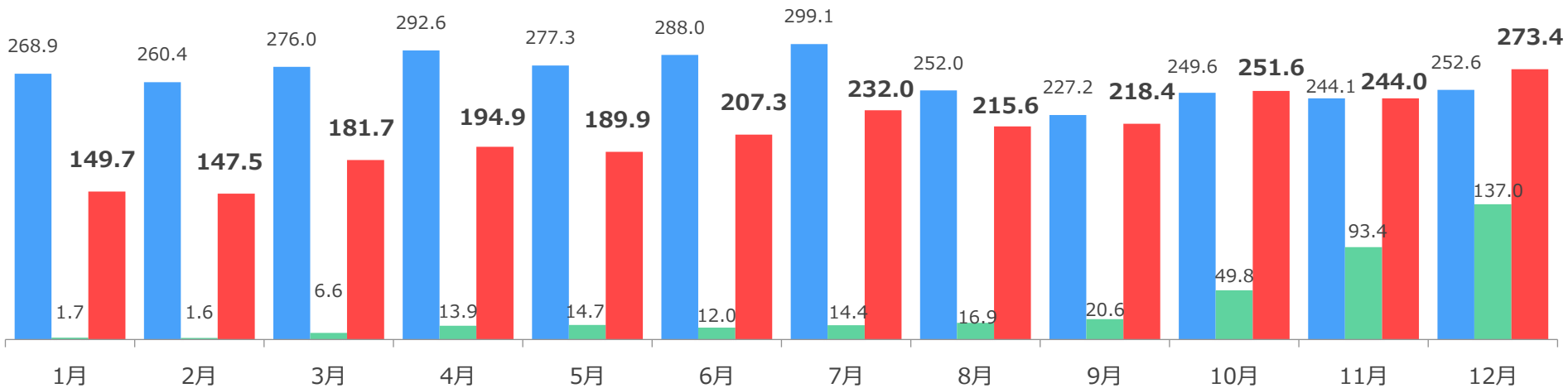
■ 2019 ■ 2022 ■ 2023



インバウンド (訪日外国人数)

(万人)

■ 2019 ■ 2022 ■ 2023



日本政府観光局 (JNTO) 資料より、当社作成

スタートアップ支援・自社サービス獲得

J-Startupの サポーター企業に認定

J-Startup

情報通信関連サービスのご提供に加え、スタートアップ・ベンチャー企業のステージ毎に必要な情報提供、協業や支援を行ってきております。

- ① 商品、サービスの販売代理
- ② 自社顧客、関係会社等の紹介
- ③ レンタル会議室の料金優遇
- ④ 国内外で利用できる Wi-Fiルーター「グローバルWiFi for Biz」の料金優待 等

年間国内で新規設立される法人の
約10社に1社※
と取引がある強み。

※当社と新規取引を開始した設立後6か月以内の企業（個人事業主含む）合計（当社調べ）
※取り扱いサービスおよび商品の変動により獲得数は変動いたします。

【新規領域】M&A

ストック収益

フロー収益

固定通信

移動体通信

OA機器販売

インターネットメディア

エコソリューション

工事関連

スペースマネジメント

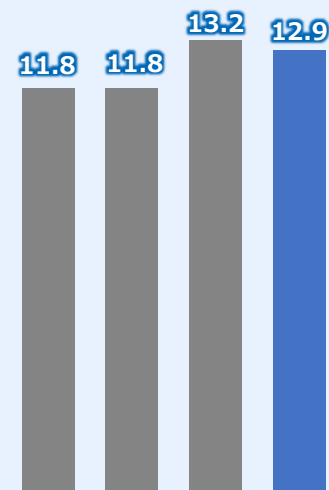
etc.

市場規模

設立登記数（総数）
：129,548件

政府による積極的な創業・企業支援により継続した増加傾向。
約15年の実績を持つWebマーケティングのノウハウを活用した集客。川上戦略。

（単位：万件）



2019 2020 2021 2022

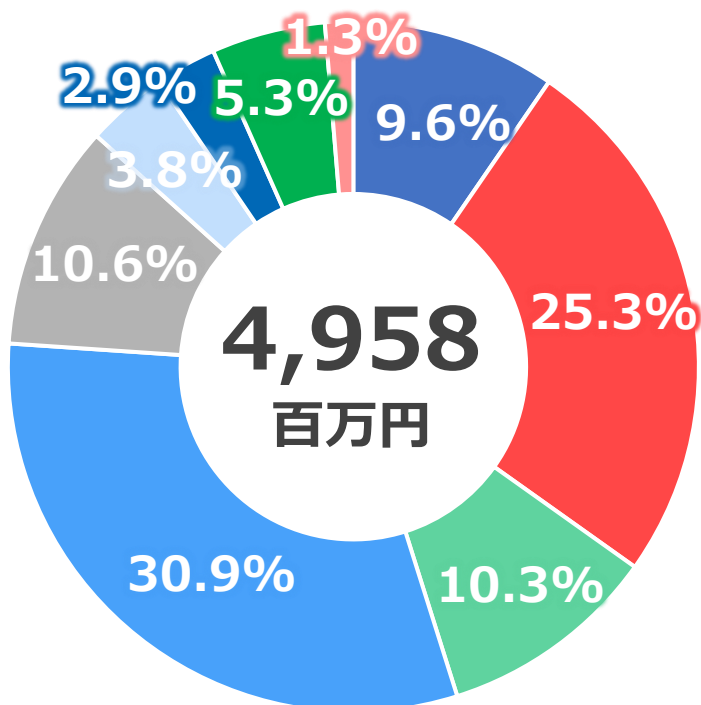
独立行政法人統計センター資料より、当社作成

情報通信サービス事業 売上総利益構成

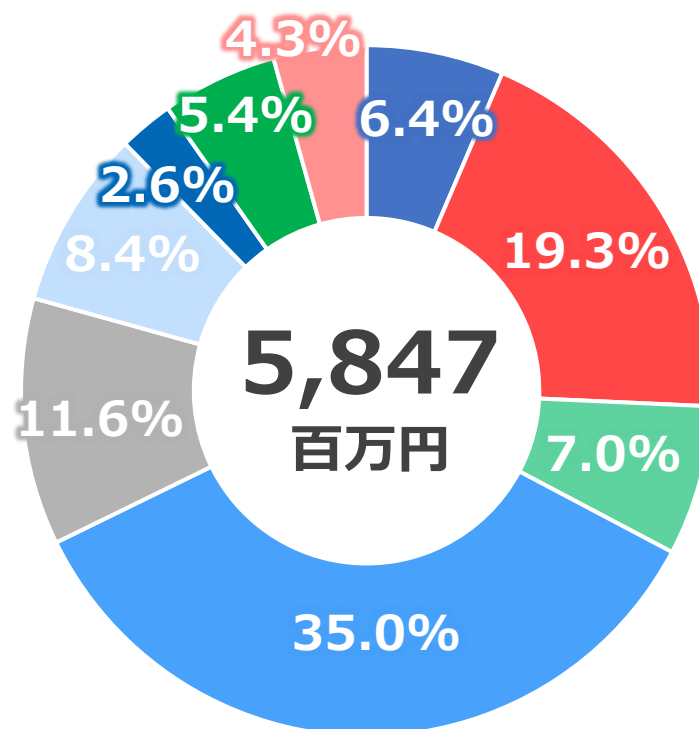
複数の事業（商品・サービス）および販売チャネルを持つ強みを活かし、外部環境の変化に柔軟に対応し堅調に推移。

OA機器の販売が好調。

2022年累計



2023年累計



- 固定通信事業
- 移動体通信事業
- ブロードバンド事業
- OA機器販売事業
- インターネットメディア事業
- エコソリューション事業
- 工事関連事業
- スペースマネジメント事業
- その他

※決算処理を含まない月次損益の比率となっておりセグメント業績と値は異なっております。

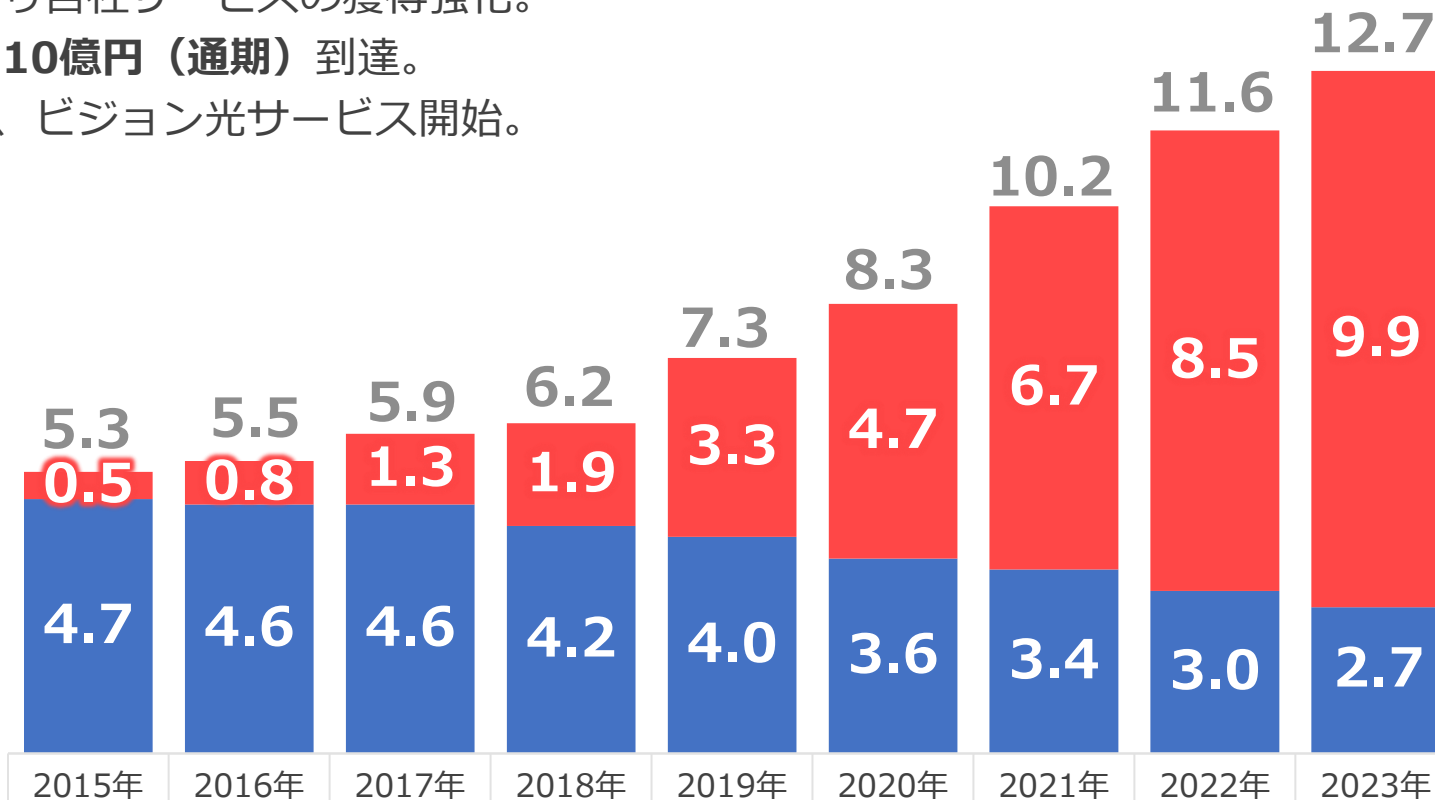
長期的に安定した収益基盤となるストック収益を強化。

2019年12月期より自社サービスの獲得強化。

2021年12月期に**10億円（通期）** 到達。

2023年9月より、ビジョン光サービス開始。

(億円)



■ 自社サービスストック	0.5	0.8	1.3	1.9	3.3	4.7	6.7	8.5	9.9
■ キャリア・メーカーストック	4.7	4.6	4.6	4.2	4.0	3.6	3.4	3.0	2.7



新型コロナウイルス感染症拡大の影響により働き方改革が促進。

お客様・市場・時代のニーズを的確に捉え、新規獲得、企業の成長ステージに応じたアップセル・クロスセルにより継続収益を増やしつつ事業成長。



「DX認定事業者」に認定

経済産業省が定めるDX（デジタルトランスフォーメーション）認定制度に基づき、「DX認定事業者」に認定されました。



自社の光回線サービス『ビジョン光』

回線契約とプロバイダ契約の2つの契約が必要な場合でも、ワンストップでご提供。回線品質はそのままで、利用料金がお得にご利用いただけます。



PC・スマホ対応ホームページ制作サービス



法人携帯の補償・修理サービス

契約台数30,000台～。来店不要で簡単交換・自己負担¥0の法人携帯補償サービス。



LED照明

レンタルで導入費用を抑えて省電力照明を。



ホームページ制作・運用

年間制作実績数2,000社以上、スマホ対応のリーズナブルなホームページ制作。運用サービス。ビジュアル訴求に強く、簡単操作で商品やサービスの魅力を伝えます。



「VWSシリーズ」販売好調。

自社開発および自社で利用しているサービスをユーザーへ展開（DX推進）。クラウドで必要な機能を必要な分だけ月額制で提供。



すべての企業へ、もっと働きやすい環境を

「VWSシリーズ」で「クラウド化」

クラウドツールで日々の業務を効率化しテレワーク等の多様な働き方をサポート。



New!

ネットワークカメラ
提供開始

18円/日
ネットワーク
カメラ

小さい・あんしん・楽しい
Edge AI ネットカメラ

VWS
Cam



格安の価格で、安心を。

月額 **550** 円/台

※1 月額 550 円からのご利用になります。

簡易的な事務所を利用されている方や、飲食店での防犯対策をしていない方などにオススメのネットワークカメラ。

ビジョンが提案する、 新しいグランピング



VISION GLAMPING Resort & Spa こしかの温泉



こしかの温泉のグランピングは、日本初全室プライベート空間および源泉かけ流し露天風呂付きのグランピング施設です。

自然豊かな霧島環境でキャンプの良さを十分に味わうだけでなく、ホテル並みの快適な空間をお楽しみください。



VISION GLAMPING Resort & Spa 山中湖



世界遺産の富士山をはじめとする大自然に囲まれた山中湖での滞在体験を通して、非日常の時間をご提供。

全室に露天風呂やサウナなど全てを完備した完全プライベートグランピング。

候補予定地

美肌の湯 こしかの温泉水を使用した新スキンケアシリーズ 『KO SHI KA | こしか』 発表



「KO SHI KA | こしか」シリーズは、「美肌の湯 こしかの温泉」の優れた美肌効果を惜しみなく発揮するためのこだわりの製造と配合を行い、高品質なスキンケア商品として仕上げています。

美肌の湯でつくった化粧水とは？

一般的な化粧水との違いは
温泉水+厳選成分



KO SHI KAのLotionは3倍濃縮の温泉水をはじめ、全ての成分が天然由来です。



■ 「美肌の湯 こしかの温泉」について

1978年の創業以来、その泉質であるナトリウム-炭酸水素塩泉の持つ、お肌の角質を軟化させ、お肌をすべすべにする効果から、俗に「美人の湯」「美肌の湯」と称され、湯治宿・日帰り湯として地元の方を中心に多くの方々から愛されてきました。

| サステナビリティ ~ESG+SDGs~

共生成長課題 (ビジョンスローガン)

地球の一員として多様な社会と共に創る未来のビジョン



ビジョングループは、持続可能な地球環境や社会のために、持続的成長をステークホルダーに約束し、多くの事業活動に取り組んでいます。
そのマテリアリティの最上位にスローガンとしての『共生成長課題』を設定し、すべての事業活動の最重要指針とします。

基盤活動課題

— 社会からの要請 —

事業活動による負の影響

must

ESG	テーマ	マテリアリティ
E	環境保護	脱炭素社会実現と環境保護への取り組み
G	働き方改革	全従業員が多様且つ安心して働ける会社

価値創造課題

— 社会からの期待 —

事業活動による正の影響

should

ESG	テーマ	マテリアリティ
S	地方創生	雇用創出・地域活性化で地方経済に貢献
S	未来創造	未来を担う子ども・医療支援で社会に貢献

マテリアリティ (重要課題)



基盤活動課題 (マイナス・抑制すべき課題)

価値創造課題 (プラス・価値提供のための課題)

脱炭素社会実現と環境保護への取り組み (E)

雇用創出・地域活性化で地方経済に貢献 (S)

環境保護



アクション・現状の取り組み	<ol style="list-style-type: none"> VWS動怠 / リーガルサイン (電子契約) によるペーパーレス化 電気代削減提案 (LED、エアコン、新電力) によるCO₂削減促進 複合機等カーボンオフセット製品の使用によるCO₂削減取り組み CDP回答・SBT認証取得による情報開示 グランピング施設にEVステーションを設置
アクション・今後の取り組み	<ol style="list-style-type: none"> グランピング施設における電力自家発電 (太陽光発電等) 缶・ペットボトルからマイボトルへ (自販機撤去) 発電、蓄電を自社で賄う、または事業展開

地方創生

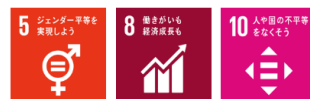


アクション・現状の取り組み	<ol style="list-style-type: none"> 地域採用・テレワークで遠隔勤務による雇用拡大 グランピング事業にて食品ロスをなくす取り組み グランピング事業を起点に地産地消、観光資源PR 首都圏・地方問わず積極的な障がい者雇用
アクション・今後の取り組み	<ol style="list-style-type: none"> 地方採用・ワーケーションの導入による地域雇用拡大 地方自治体の企業誘致支援の積極活用 地域企業との連携・アライアンス強化で地域企業の成長支援 地方起業家を育成するためのワンストップサービス

全従業員が多様且つ安心して働ける会社 (G)

未来を担う子ども・医療支援で社会に貢献 (S)

働き方改革



アクション・現状の取り組み	<ol style="list-style-type: none"> 時短勤務・フレックス勤務のルール化 女性活躍推進の積極取り組み (える(ま)し2つ星承認) 育休の積極取得推進、男性育休の開始 キャリアデザイン室の開設、社員のキャリア支援
アクション・今後の取り組み	<ol style="list-style-type: none"> 要介護者家庭・母子家庭・父子家庭への就業支援制度化 更に女性が活躍できるような営業部・商材の確立 資格取得支援によるスキルアップ 本社統一の人事評価制度策定・運用

未来創造



アクション・現状の取り組み	<ol style="list-style-type: none"> ビジョンキッズ保育園運営で働きやすい環境作り 地方自治体 (GIGAスクール構想) へのWi-Fiルーターレンタルサービス「グローバルWiFi®」でオンライン授業の構築推進 グローバルWiFi®で Japan Heart を支援、売上の一部を寄付 ピースピースプロジェクトの活動をサポーターとして応援
アクション・今後の取り組み	<ol style="list-style-type: none"> グローバルWiFi®の無償貸与と拡大で学生・若者支援 児童養護施設、児童福祉施設の運営もしくは支援 発達障害児童のための施設運営、地域施設との連携 カスタマー一体型のNGO団体への支援

ビジョングループは、「**情報通信の未来を、すべての人たちの未来のために**」という思いのもとに、ESGに配慮した経営と事業戦略を通して、サステナブルな成長と企業価値向上を目指しております。また、国連が定めるSDGsに代表される社会課題の解決等を通じて、社会・地球の調和のとれた持続可能な発展に率先して貢献いたします。



Environmental
環境



GSLを通じて環境貢献に取り組んでいます。

IT地球温暖化対策グリーンサイトライセンス

震災リゲイン

特定非営利活動法人 震災リゲイン



一般社団法人エコロジー・カフェ



Social
社会



えるぼし2つ星取得



2023
健康経営優良法人
Health and productivity

健康経営優良法人
2023

Japan Heart

特定非営利活動法人ジャパンハート



ビジョンキッズ保育園



Governance
コーポレート・ガバナンス



コンプライアンス・内部統制



IS 650094 / ISO
27001 :2013

2023年12月時点のMSCI ESGレーティングは
2022年に引き続き「A」認定

MSCI ESG RATINGS



CCC	B	BB	BBB	A	AA	AAA
-----	---	----	-----	----------	----	-----

DISCLAIMER STATEMENT

THE USE BY VISION INC. OF ANY MSCI ESG RESEARCH LLC OR ITS AFFILIATES ("MSCI") DATA, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT, RECOMMENDATION, OR PROMOTION OF VISION INC. BY MSCI. MSCI SERVICES AND DATA ARE THE PROPERTY OF MSCI OR ITS INFORMATION PROVIDERS, AND ARE PROVIDED 'AS-IS' AND WITHOUT WARRANTY. MSCI NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI.

MSCI（モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル）社のMSCI ESGレーティングにおいて、「A」評価を獲得しました。MSCI ESGレーティングは、企業の環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の取り組みを分析し、最上位ランクのAAAから最下位ランクのCCCまで7段階で格付けされます。

ビジョングループは、「地球の一員として多様な社会と共に創る未来のビジョン」のスローガンを掲げ、多くの事業活動に取り組んでいきます。

CDP「気候変動スコア2023」において マネジメントレベル【B-】スコアに認定



CDPは、2000年に発足した英国の慈善団体が管理する非政府組織（NGO）であり、投資家、企業、国家、地域、都市が自らの環境影響を管理するためのグローバルな情報開示システムを運営しています。



ビジョングループは、共生成長課題（ビジョンスローガン）として「地球の一員として多様な社会と共に創る未来のビジョン」を掲げ、マテリアリティ（重要課題）のひとつ『環境保護：脱炭素社会実現と環境保護への取り組み』を進めております。

| トピックス

2023年12月22日開催の取締役会において、取締役会の任意の諮問機関として「指名報酬委員会」を設置することを決議いたしました

1. 委員会設置の目的

取締役の候補の指名と報酬等の決定に当たり、合理性、客観性および透明性を確保し、コーポレート・ガバナンスの一層の強化を図ることを目的としております。

2. 委員会の役割

指名報酬委員会は、取締役会の諮問に応じて、主に以下の事項に関する方針、手続き等について審議し、取締役会に対して報告または答申いたします。

- (1) 取締役の選任・解任に関する事項
- (2) 代表取締役の選定・解職に関する事項
- (3) 取締役の報酬等の決定に関する方針案
- (4) 取締役の報酬に関する事項
- (5) 後継者育成計画に関する事項
- (6) その他取締役会が必要と認めた事項

3. 委員会の構成

取締役会の決議により選定された取締役である委員3名以上で構成し、その過半数は独立社外取締役といたします。また、委員長は、社外取締役である委員の中から委員会の決議により決定します。

4. 設置日

2023年12月22日（金）

株主優待制度の拡充について

新規追加対象サービス スキンケアシリーズ「KO SHI KA | こしか」

「美肌の湯 こしかの温泉」の温泉水をベースにしたスキンケアシリーズ「KO SHI KA | こしか」3点セット（Lotion/Milk/Gel 10,692円（税込））は、2枚の優待券で交換が可能です。



Lotion（ローション）150mL



Milk（ミルク）100mL



Gel（ジェル）50g

保有株式数	基準日：毎年6月30日 (送付時期：毎年8月)	基準日：毎年12月31日 (送付時期：毎年3月)
100株以上 200株未満	3,000円分2枚	3,000円分2枚
200株以上 300株未満	3,000円分3枚	3,000円分2枚
300株以上	3,000円分3枚	3,000円分3枚

自己株式の取得について

■取得に係る事項の内容

取得対象株式の種類：当社普通株式

取得し得る株式の総数：670,000株（上限）

（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合1.37%）

株式の取得価額の総額：10億円（上限）

取得期間：2023年11月15日～2024年3月31日

取得方法：東京証券取引所における市場買付

■取得した自己株式の累計(2023年12月11日現在)

取得した株式の総数：670,000株

株式の取得価格の総額：782,901,600円

■2023年12月31日時点での自己株式の保有状況

発行済株式総数：50,505,300株

保有自己株式数：2,171,681株

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料並びに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらのリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報や将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

株式会社ビジョン

お問い合わせ： IR部 ir@vision-net.co.jp